

水道

令和7年度水道事業会計決算

水道は市民生活に直結するライフラインであり、社会生活を支える基盤としても重要な役割を担っています。

令和7年度の決算状況をお知らせするとともに、厳しい経営環境の中でも給水サービスの向上を図り、より安全で良質な水道水を安定してお届けできるよう努めます。

●財政状況

収入は、一般家庭用や工場用などの給水量の減少に伴い、水道料金が前年度と比べて1,539万円減少したことなどにより、総額は17億1,531万円となりました。

支出は、受水費・修繕費などが減少しましたが、委託料や固定資産除却費が増加したため、総額は15億9,488万円となりました。

結果、収支は1億2,043万円の黒字となりました。

●給水状況

前年度と比べて、水を送った件数は12件減少し、年間の給水量は130,400㎡減り、水を使った人数も761人減少しました。

■給水の状況

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
年度末給水人口(人)	75,121	74,305	73,558	72,647	71,886
年度末給水件数(件)	34,621	34,707	34,732	34,830	34,818
年間配水量(千㎡)	10,152	10,112	10,040	10,029	9,880
年間給水量(千㎡)	9,353	9,257	9,204	9,195	9,065
有収率(%)	92.1	91.5	91.7	91.7	91.8

■令和8年度 水質基準項目(PFAS)水質検査結果

三木市の水道は水質基準を満たしています。
(令和8年5月・8月の平均値 水質基準値は50ng/ℓ以下)

問(市)水道工務課 施設係

項目	配水区域名									
	三木山	東部	西部	脇川	広野	自由が丘	城山	小林	北部	みなぎ台 畑枝
PFOS※1およびPFOA※2の量の和(単位はng/ℓ)	18	5未満	12	7	6	5未満	7	31	5未満	5未満 5未満

※1 ペルフルオロオクタンスルホン酸 ※2 ペルフルオロオクタン酸
●有機フッ素化合物(PFAS)に含まれる物質の1つです。泡消火剤や撥水剤として使用されてきましたが、環境中で分解されにくい性質があることから、国内での製造・使用が禁止されています。水質基準値は人が一生涯で毎日2ℓ飲用しても問題ないとされる値です。

冬の寒さから水道管を守りましょう

外気温が氷点下4度以下になると水道管が凍結・破損する恐れがあります。本格的な寒波到来までに水道管などの自主点検を行い、凍結・破損を防ぎましょう。

▼凍結の予防策

- ・屋外の水道管は保温材が不要になったタオルなどで覆い、その上からビニールテープを巻く
- ・低温注意報が出たときは、蛇口から少量の水を流し続ける

▼凍ってしまったら

- ・自然に解けるのを待つ
- ・凍った部分にタオルを被せて、その上からぬるま湯をゆっくりかける

▼凍結・破損してしまったら

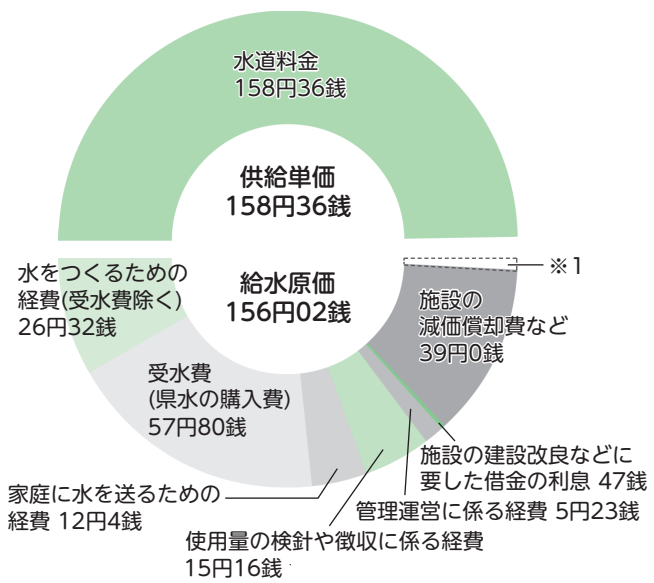
- ・量水器(メーター)ボックスの中にある止水栓を閉める
- ・市指定の給水装置工事業者に修理を依頼する

問(市)水道お客様センター

☎82・2010

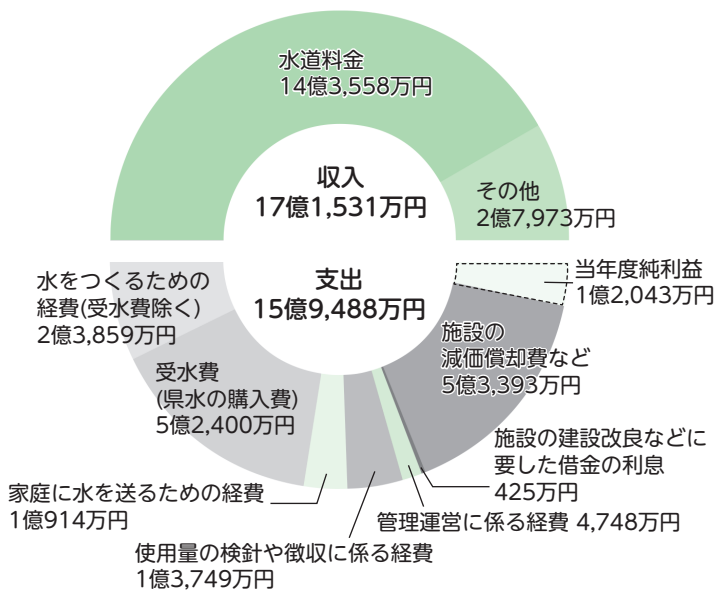


供給単価と給水原価 (1㎡当たり、消費税などを抜いた表示)

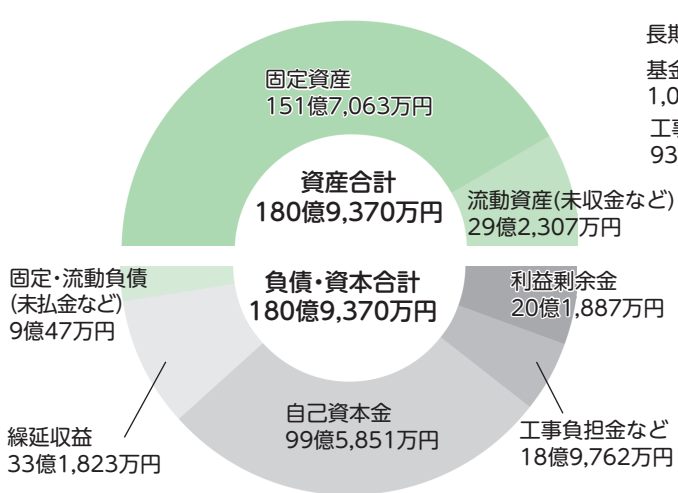


※1 供給単価が給水原価を上回り、料金収入で給水に必要な費用が賄われました。

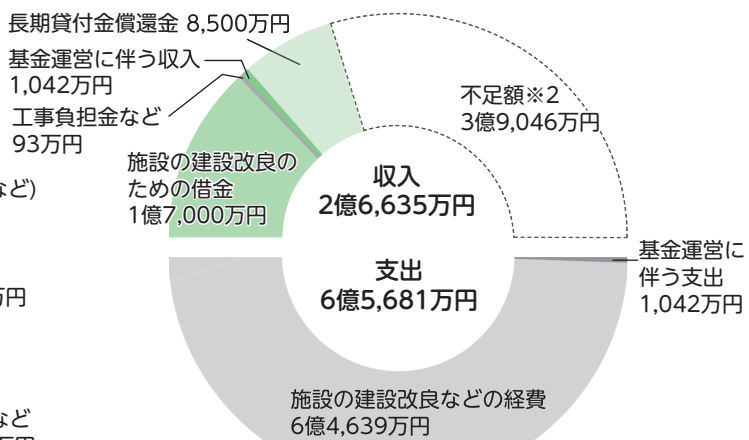
経営活動に伴う収入と支出 (損益収支のため消費税などを抜いた表示)



貸借対照表



施設整備に要する収入と支出 (資本収支のため消費税など込みの表示)



※2 不足額は施設の減価償却費などの内部留保資金などで補てんしました。

こんな時は三木市水道お客様センターへ

- ・転入や転居で水道を使用・中止する
- ・売買、相続などにより名義人が変わる
- ・長期間留守にする など

▼窓口営業時間

午前8時30分～午後5時(平日)

問(市)水道お客様センター

☎82・2010

応急給水訓練体験会の実施

災害時の対応には、地域の皆さまの協力が必要です。災害に備えた地域の自主防災訓練や避難訓練などの実施に併せて、市の応急給水訓練を活用してください。



▲自由が丘連合会自主防災訓練の様子

問(市)水道工務課 工務係